

# 強固な組織力、根強い職場闘争

## ≡ 5/8 木更津支部職場集会 ≡



83. 8. 9

No. 1412

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五・六 (公衆)〇四七二二七二〇七



八月五日職場集会在、木更津支区講習室において、十二時より、三十一名の組合員の結集により、また、本部から山口副委員長、吉岡組織部長、三浦カナメ商事の各来賓の参加によりかちとられた。

### 職場闘争の再構築を

齊藤支部長あいさつ

冒頭、支部より次のような基調が提起された。「我々を取りまく状況」及び、この間の動労「本部」革マル、当局、権力、一体となった動労千葉つぶしの攻撃、また、国鉄監理委員会報告という形での支配者側からのマスコミを利用した世論操作、イデオロギー攻撃、それに、当局側からの動乗改悪等々の「国鉄赤字論」をもつてする国民、国鉄労働者を無視した、国鉄労働者と労働運動を抹殺しようとする攻撃であり絶対に許す事は出来ない。それには、職場生産点での闘いの再構築が急務であり、その闘いの一つが家族組合の結成である等の提起があった。

続いて、本部より情勢と方針が提起された。国家財政の危機の責任を労働者に転嫁し、労働組合と国鉄当局の力関係を逆転、すなわち、国鉄当局の職場管理権の奪回を目指している。また、新たな組織破壊攻撃をにかけてきている。三里塚闘争労働連帯の要でもあった、ジェット燃料貨車輸送に「終止符」が打たれ、新たな労働連帯の出発点とする「8・8パイプライン集会」には、

動労千葉としての力量を示すためにも全力を挙げて取組んでほしい。夏から秋にかけての闘いが非常に重要であり、「59・2」は今までの貨物の形態を一変してしまいう攻撃である。動労「本部」の裏切りをも弾劾して闘っていかう。我々労働者側からの職場管理権の維持・拡大と、闘いの中から権利を守り切る事が重要であり、職場における強固な団結力、家族組合の結成、家族ぐるみの闘いが急務である。

### 家族組合結成、

カナメ商事活動等々で活発な討論

そのあと、質疑に入った。主に家族組合について集中討論を行い、支部のサークル活動が決め手であり、レクリエーション(家族をも含めての)にからめて、支部が近日中に日を決めて徐々に行うという事で打切った。

また、三浦カナメ商事担当者から、各種保険の説明があり、自前の労働運動をという事で動労千葉の財政基盤の確立にもかかわらず、支部担当の更なる奮闘をお願いする主旨の発言があった。最後に山口副委員長からの動乗改悪をめぐる情勢と内容の説明があり終了した。

## 5市2町の五五〇〇名が住民総決起集会 下総基地米軍使用反対で

中江市議・船橋市民の会と共に、動労千葉も参加し闘う!!

八月七日、炎天下のもと、鎌ヶ谷市市民体育館前広場において、「下総基地の米軍使用に反対する 8・7住民集会」が開催された。

アジア、中東への侵略戦争の最前線を担っている米核空母・ミッドウェーは、これまで艦載機の飛行訓練を神奈川県厚木基地で行ってきたが、たび重なる事故、騒音のため、周辺住民の反対運動で夜間離着陸訓練ができなくなっていた。昨年、米軍の要請をうけた防衛庁は、夜間訓練の代替基地として、海上自衛隊下総基地を候補地にあげてきた。

船橋市・我孫子市・柏市・鎌ヶ谷市の住民は、米軍使用反対連絡協議会を組織し、反対運動を展開してきた。

動労千葉は中江選挙闘争以来「船橋市民の会」運動を通して、核基地化につながる下総基地米軍使用反対運動を続けてきた実績にふまえて、中江市議を先頭とする船橋市民の会の仲間と共にこの日の集会に参加した。

集会には、子供たちも含め全ゆる層の五千五百名の住民が結集し、中曽根の軍事大国化路線―基地―ミッドウェーに怒りを叩きつけた。そして、防衛庁に対し、基地使用反対の決議文を採択し、絶対反対の闘いを誓い終了した。



おもいおもいの旗、のぼり、横断幕で結集した5,500名の周辺住民。